

男子決勝戦評

チーム名		10		12		チーム名
大洗	57	11	VS	20	58	真鍋
		15		18		
		21		8		
1Q	<p>真鍋ボールでスタート 真鍋⑩のドライブで先制。 大洗も④の高いリバウンド・ブロックで応酬。 真鍋は④のドライブからの連続得点により得点を重ねる。 一方大洗は、④のポストプレイを中心に外へボールを展開し応戦する。 お互いに点差を広げられず、10対12で真鍋の2点差リードで1Qを終了。</p>					
2Q	<p>真鍋⑥のドライブにより先制。 序盤、真鍋の激しいディフェンスにより大洗がミスを重ね連続スティールにより、真鍋が主導権を握る。 残り2分30秒MCにより真鍋に赤旗が上げられ、注意が与えられる。 大洗は⑥のゴール下の得点により点差を詰めるも真鍋の勢いは止められず、2Q終了時点で21対32と点差が開く。</p>					
3Q	<p>大洗⑥のゴールにより先制。大洗は④、⑥の高いゴール下のプレイにより点を重ね得点を詰める。真鍋もダブルチームからのスティールにより④、⑥中心に点差をキープする。残り1分MCにより真鍋に赤旗が上げられ、注意が与えられる。この時点で2回目の注意となりマンツーマンペナルティーによりフリースローが与えられるが決められず、大きな影響が与えられないまま、36対50真鍋14点リードのまま3Qが終了。</p>					
4Q	<p>4Q開始大洗⑥のゴールにより先制。真鍋は④のドライブを中心に応戦するも、大洗のディフェンスに攻めあぐね点差を縮めていく。残り4分20秒真鍋のマンツーマンペナルティーにより勢いが大洗に傾く。大洗④、⑥のポストプレイ、ドライブを中心に着実に点差を重ね、残り2分20秒真鍋⑤が5ファールにより退場。大洗にフリースローが与えられ、ついに同点に追いつく。その後激しい一進一退の攻防の末、57対58で真鍋が接戦を制した。</p>					